

本設備における検討事項

項 目	内 容
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間（15年以上）にわたり安定的で経済的なシステムの運用を可能とすること。（例えば、安価な汎用パソコンの適宜交換や、シンプルな機器構成 等） ・ 他のメーカーとの互換性（機器の拡張、データの送受信、プログラムの変更等）を持たせること。 ・ 既存のテレメータや多重無線、観測機器等との接続、調整、連携を適切に行うこと。（これらに要する費用は本工事に含む） ・ 機器等の故障、不具合の発生抑制対策を講じること。 ・ 保守点検や部品交換等が容易に行えるものとする。 ・ 地震や雷を想定した機器の保全対策を講じること。 ・ 観測値等に異常値が生じた場合の対応を講じること。 ・ 誰もが容易に操作ができるように工夫すること。 ・ 観測情報、操作情報は、画像やグラフ等でわかりやすく表示すること。 ・ 本設備を外部のネットワークと接続する場合は、ネットワーク上の脅威に対する対策を講ずること。 ・ 事務所内の監視制御装置の移転及び移転に伴う関連設備の改造、接続作業を容易に行えること。
ダム管理用制御 処理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム諸量データ等の取り扱いに関して、以下の点を考慮すること。 ① 日報、月報、年報のデータはエクセルデータとし、取出しは容易に行えるようにすること。（メール送信やUSBポート増設等） ② 日報における、流入量や放流量は、日合計および平均を整合させたデータとすること。 ③ 貯水容量のデータ更新(1回/年)は、簡易な入力方法及び入力ガイド機能を付加したものとする。 ④ 雨量局データの一時休止設定等は、1画面で取り扱えるものとする。 ・ 新旧設備が併設しての作業となることから、併設時の電源の確保、システム切替時の対応等を適切に行うこと。 ・ 異常時（異常気象、地震、停電、漏水量等の大幅な変化等）に、ダム情報（例えば、地震発生時の加速度データ等）を、管理者の携帯電話等へ自動で電子メールを送信できるようにすること。
機器の配置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の設置面積は現況以下とし、管理のしやすい配置計画とすること。